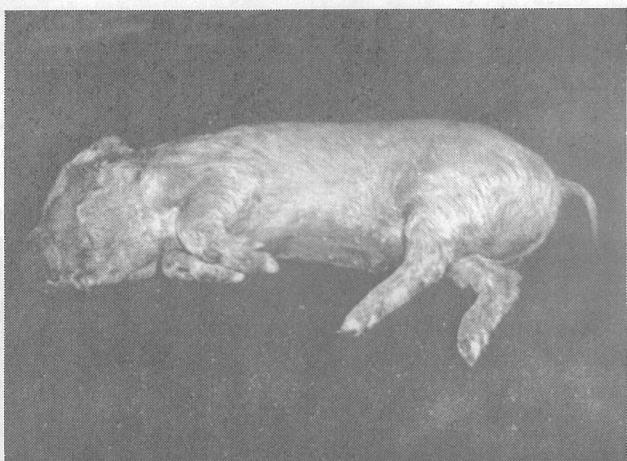


養豚家の皆さんへ 日本脳炎・コレラの予防接種



(豚コレラ、ひん死期になると耳・腹部などが変色)

日本脳炎は人に対し、寒け、震えと共に高熱を発し、励しい頭痛やけいれん、さらに嘔吐、腹痛などの消化器症状をともなつて始まり、やがて睡眠障害をおこし、手足の麻痺、言語障害、白痴などの後遺症をのこす恐ろしい病気と言われています。

し、胎盤を通じて胎児に感染をおこし、その結果、極めて高い率で死流産がおこり、養豚界に及ぼす影響は非常に大きいものであります。

この日本脳炎の発生を防ぐためには、衛生環境を良くする一方、日本脳炎の予防接種を受けることです。町では今年も、日本脳炎生ウイルスワクチンによる徹底した予防接種を行ないます。養豚家の皆さんには、日本脳炎、豚丹毒、豚コレラなどの予防接種の励行と衛生環境の改善に、ご協力をお願ひ

し、胎盤を通じて胎児に感染をおこし、その結果、極めて高い率で死流産がおこり、養豚界に及ぼす影響は非常に大きいものであります。

家庭用ルームエアコンは、以前ルームクーラーと呼ばれていましたが、最近の機械は単に冷房するだけでなく、梅雨時の除湿や冬期の暖房まで一年中使用ができるようになります。性能も変わってきました。

一、機器を設置する場合、屋外部分は日陰で風通しのよい所に設ける（日の当る所は日よけを取りつけると効果的）

気温度との差は五度C程度が適當です)

電気の豆知識

ナ一（空氣調和機）の意味でルームエアコンと呼ばれるようになります。

三、外気温度の変化に応じて、手ま
える必要もなく、締め切ることに
より経済的に使えます。

二十五周年を迎えた 家庭裁判所

民の理解と期待を深めてきまし
た。

この二十五年間に全国の家庭
裁判所でとり扱った事件の数は
家事審判事件が約六五九万件、
調停事件が一二三万件、少年保
護事件が約一、五一七万件です。
その他、家事相談のため家庭裁
判所を利用した人は、約六二二

ない、いわゆる核家族化の進展
価値観の多様化、さらに核家族
間の権利意識の高揚などの要因
が累積して、内容がきわめて複
雑なものとなつてきています。

一方、少年事件では、モータ
リゼーションの影響で車両によ
る業務上過失致死傷事件が増え
つづけてきましたが、昭和四十

ゆえの非行」が影をひそめたかわりに享楽物、せつ的な非行が目立つようになり、低年令層の少年や中流以上の家庭の少年の非行が増えてきています。

家庭裁判所は、このように多くの事件を処理し、家事事件や少年事件に適切に対処するため創意工夫をしています。

家庭の平和の維持と非行のある少年の健全な育成という目的をかかげ、昭和二十四年一月一日に家庭裁判所が創設され、ことしでちょうど二十五周年になります。この四半世紀に家庭裁判所は多くの困難を乗り越えて、制度機構の面でも次第に整備充実し、事件処理の面でも大きな成果をおさ

萬人にも達しています。
千葉家庭裁判所管内でも、この二十五年間に家事審判事件が約二十三万件、調停事件が約三万件、少年保護事件が約三十万件に達しています。

五年以降は減ってきてます。また強盗、殺人、放火、強かんという、いわゆる凶悪犯は昭和三十四年をピークにまた恐かつ脅迫、暴行、傷害といった粗暴犯は、昭和三十九年をピークにそれぞれ減少し、特に凶悪犯は検挙人員、人口比（人口千人当たりの非行率）とも昭和二十二年以来の最低を記録

ゆえの非行」が影をひそめたかわりに享楽物、せつ的な非行が目立つようになり、低年令層の少年や中流以上の家庭の少年の非行が増えてきています。

家庭裁判所は、このように多くの事件を処理し、家事事件や少年事件に適切に対処するため創意工夫をしています。